1年	科目	古典	講義	前期または後期	担当	渡邊　忠昭
全学科共通		Classical Japanese	必修	1履修単位		WATANABE　Tadaaki

授業の概要

現代日本文化の源流としての基本的な古典の作品に親しみ、その底に流れている精神、人間性の「不易」なものと、時代とともに現象として変化してみえる「流行」を見極める力を養う。
さらに、そこで培われた理解力、表現力、洞察力（いわゆる「読み・書き・そろばん」力）をもって、文化面での国際社会における情報収集能力、情報発信能力の基礎を習得する。

		目標	説明
本校学習・教育目標（本科のみ）		1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度
		2	自然科学の成果を社会の要請に応えて応用する能力
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力
	○	4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力
		5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢
プログラム学習・教育目標（プログラム対象科目のみ）			
実践指針（専攻科のみ）			

授業目標

古文・漢文の読解を通じて日本文化受容への理解を深め、歴史を踏まえた文化発信力の基礎を身につける。

授業計画

第1回		古文入門　古文の言葉と仮名遣い
第2回		随筆「徒然草」（序段、第68段）
第3回		作り物語「竹取物語」（天の羽衣）
第4回		作り物語「竹取物語」（天の羽衣）
第5回		歌物語「伊勢物語」（筒井筒）
第6回		和歌「記紀歌謡」・「万葉集」
第7回		和歌「古今和歌集」・「新古今和歌集」
第8回		日記文学「土佐日記」（馬のはなむけ・帰京）
第9回	中間試験	
第10回		軍記物語「平家物語」（祇園精舎）・俳諧紀行文「奥の細道」（大垣）
第11回		漢文入門　訓読法・唐詩
第12回		唐詩
第13回		寓話「列子」（朝三暮四）
第14回		史話「十八史略」
第15回		思想「論語」
	期末試験	
第15回		試験解説、授業アンケート

評価方法と基準	定期試験（70%）、平素の確認小テスト及び受講態度等（30%）で評価
教科書等	「国語総合　古典編」東京書籍、「新訂最新国語便覧」浜島書店
備考	教材を変更することもある。2組・5組は前期に開講、1組・3組・4組は後期に開講。 1.試験や課題レポート等は、JABEE 、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。